

## 平成30年度事業計画

社会福祉法人 健善富会  
美光保育園

### 1、運営

今年度は新体制2年目。退職者3名、入職者3名。職員22名。パート18名。計40名。  
既婚者の産休も考慮しクラス運営をする。

経験年数も上がってきた職員も多くなり、創意工夫された遊びの提供が出来るクラスもある。幼児は幼児リーダーを置き、別に各クラスリーダーを任命。幼児リーダーには隣接クラスにも配慮してほしい。

未満児クラスは新入職者3名となるので、指導するとともに、遊びの充実、丁寧な育児を目標にする。

### 2、園児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
定員	9	15	16	16	17	17	90
現員4月	6	18	20	18	16	17	95
現員3月							

### 3、保育

- 野菜・植物栽培を通して自然に触れ、世話をする喜び、収穫の嬉しさを感じる。
- 未満児は、子どもの主体的な遊びにも意識して提供できるようにする。
- 以上児は、手の力の弱い児が多いので、手押し車や雲梯（公園内）を積極的に取り入れていく。  
指針の中にもある協同性を育める活動を提供できるようにする。

### 4、行事

- 秋祭り、ファミリースポーツデー、子ども劇場、餅つき大会は引き続き行う。
- 年長児のほたるの生態園・泉谷公園の探索。
- 年長児のお泊り保育は、年長の会とする。一泊行わない。  
達成感・自立心・協同性・通常の保育では出来ない体験等をねらいとした活動内容にする。

### 5、保健衛生

- 食物アレルギー児の訓練を昨年に引き続き行う。職員が様々な役割も意識をもって行えるようにする。

- 怪我記録表にヒヤリハットを設け、怪我に至らなくても記入するように改善する。また、怪我になった場合も今後の改善策を記入するようにし、怪我防止を意識する。

## 6、研修

- 新しい保育所保育指針が施行されたので、引き続き園外の研修にも職員は積極的に受講し職員間への報告を行う。

非認知能力を大切にする内容なので、子どもとの愛着、信頼関係を築けるようにするとともに、知的な遊び、探求心など知識や考える力、運動面にも計画して取り組みたい。

- 三園合同研修 保育・わらべうたを今年度も行う。積み木研修は講師の都合で未定。
- 主任・栄養士・看護師が中心となり、今年度も食物アレルギー児の訓練を昨年に引き続き行う。

職員が様々な役割も意識をもって行えるようにする。

食物アレルギー児が一人となった。土曜日利用児なので、いつどの職員でも対応できるように、書面に記入方式で理解度を確認する。

## 7、その他

- 昨年1月に伊藤ヒサエ氏寄贈の欒の木を園庭に移植、今年度は木登り可能となるので、安全面に注意し、子どもたちと楽しみたい。新しい目標となれば良いと思う。